

令和8年度

清水特別支援学校 交流及び共同学習だより No.1

～ 今回は小学部の交流及び共同学習についてお知らせします ～

学校間交流とは？

「学校間交流」は、交流及び共同学習の形態の一つで、特別支援学校と地域の小・中学校、高等学校の児童生徒が行う交流です。有意義な交流になるよう、交流のねらいや活動内容などを学校間で検討して計画的に進めています。



清水東小学校・清水南小学校の児童に向けて

交流の前に本校教員が各校へ出向き、授業を行いました。担任の先生の交流学习に対する思いをお聞きし、各校のねらいが達成できるよう、授業の打合せを行いました。地域の児童達に理解啓発を行うことは本校の大切な役割です。



小学部では、6月24日(水)に清水南小学校と、7月14日(火)に清水東小学校との学校間交流がありました。清水南小学校とは平成11年から清水東小学校とは平成9年から学校間交流を行っています。今回は小学校児童が本校に来校し、学校見学を行った後、一緒にパラバルーンやニュースポーツを楽しみました。

はじまりの会・自己紹介、パラバルーン



はじまりの挨拶。
「よろしくお願いします。」

パラバルーンは、児童皆に大人気。教室に楽しそうな声が響きました。

グループの友だちと自己紹介。
自己紹介の他にも、お互いに質問をして交流を深めました。



ニュースポーツ、魚つり、まとあて、わなげ、おわりの会

次にどのコーナーに行くか、カードを見せ合って自分の行きたいところを確認しました。



グループで仲良く協力して遊べました。



順番やルールをまもって最後まで楽しく活動することができました。



おわりの挨拶。
「たつきゅうバレーが楽しかったです。」

【相手校児童の感想】

- ・特別支援学校には清水東小学校と違うことがたくさん。
- ・さかなつりやまとあてゲームを一緒にできてうれしかったです。
- ・仲良くなれてよかったと思いました。11月に、来てくれるのが楽しみです。
- ・1回目が楽しかったから、11月の時がもっと楽しみにになりました。
- ・もっと特別支援学校を知りたいです。
- ・最初は「怖いなあ」「緊張するなあ」と思っていたけど、とっても楽しかったです。



【相手校保護者の感想】

- ・自分たちが通っている学校とは、少し工夫されている教室があることが分かり良かったですね。
- ・相手に合わせることや一緒にやることがしっかりできた交流になってよかったと思います。
- ・一緒に遊んだり、同じ時間を過ごすことがとても良い経験になったと思います。
- ・一緒に活動することで相手のことを知る、感じるといったことを学ぶ機会になってくれればうれしいです。
- ・通う学校が違って同じ小学生のお友達であること、でもお友達が何か困っていることがあれば助けてあげられるようになることが大切だと思います。

事後学習

本校では、個人ノートで活動を振り返りました。相手校の児童は、小学校で感想を書きました。相手校児童一人一人の感想に、本校教員がコメントを返しています。